

目的

大学共同利用機関法人人間文化研究機構は、6つの大学共同利用機関を設置し、各機関において人間の文化活動並びに人間と社会及び自然との関係に関する基盤的研究を進めるとともに、各機関の連携協力を通して、人間文化に関する総合的で多様な研究を展開させ、学術文化の進展に寄与することをその目的とする。

業務概要

21世紀における人類にとってもっとも重要で緊急の課題は、地球における人類の生存のための環境問題とともに、世界における人間の共生である。この難問を解く鍵は「文化」にあるとの発想に基づき、人間文化研究機構は人間文化研究の新たな領域を、従来の枠組みを超えて創出し、先端的・国際的な研究を展開するため、平成22年度に教育研究評議会のもとに総合研究推進委員会を新たに設置し、必要な推進体制を整備しつつ、次のような活動を推進していく。

- 連携研究
- 連携展示
- 研究資源の共有化
- 日本関連在外資料の調査研究
- 国際連携協力
- 地域研究の推進
- 講演会・シンポジウム

また、各機関の事業は、以下のとおり。

○国立歴史民俗博物館

文献を主な資料とする歴史学、遺跡や遺物から人類史を探る考古学、伝統的生活文化・伝承を研究する民俗学、関連する人文・自然科学などが協業して資料の収集・保存と調査・研究を行い、日本の歴史と文化を総合的に研究する。

○国文学研究資料館

日本文学及びその周辺の資料について広く国内外において調査収集し、マイクロフィルムやデジタル資料として公開する。また、それらの資料を活用し、文学研究を体系的、総合的に展開させる多面的な共同研究として、基幹研究、特定研究、国際連携研究、公募共同研究を行い、日本文学研究の拠点としての役割を果たす。

○国立国語研究所

アクセント、語彙、文法、消滅危機方言、コーパスなど日本語研究の現代的諸課題について、外国語との比較や日本語教育への応用なども含めた多角的観点から国内外の諸機関と共同研究を推進する。また、資料・情報を広く社会に発信・提供し共同利用に供する。

○国際日本文化研究センター

日本文化について国際的な観点から研究課題を設け、国内外の多くの研究者の参加を得て、共同研究方式による国際的・学際的・総合的な研究を行うとともに、国内外の研究者・研究機関に対して日本研究に関する情報・資料の提供や研究協力を行う。

○総合地球環境学研究所

地球環境問題の解決に向けて、既存の学問分野の枠組みを超えた総合的視点に立つ地球環境学を構築するために、国内外の研究機関と連携して、人文・社会系から自然系までの幅広い学問分野を総合化する研究プロジェクトを推進する。

○国立民族学博物館

文化人類学及び関連する諸分野の研究拠点として、人類の多様な文化・社会に関する研究・調査を行う。共同研究をはじめ多様な形態の研究を実施するとともに、資料・情報の共同利用を進め、博物館活動等を通じて広く社会との連携を目指す。

国の施策との関係

大学共同利用機関法人人間文化研究機構は、文部科学大臣が定めた中期目標に基づき中期計画を策定し、当該中期計画について文部科学大臣の許可を得た上で年度計画を作成し、これに基づき適正かつ確実な実施を図る。